

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町村名	字名等	事業概要	事業費(千円)
県単道路改築事業	(一)修善寺天城湯ヶ島線	伊豆市	佐野	道路拡幅工	200,000
県単道路改築事業	(一)沼津小山線	小山町	菅沼	道路拡幅工	200,000
県単道路改築事業	(主)清水富士宮線	富士宮市	大久保	道路拡幅工	300,000
県単道路改築事業	(主)焼津森線	掛川市	五明	道路拡幅工	210,000
県単道路改築事業	(一)横川磐田線	磐田市	敷地	道路拡幅工	50,000
県単交通安全施設整備	(国)135号	下田市	白浜	交通安全対策	15,000
県単交通安全施設整備	(国)135号	熱海市	下多賀	歩道整備	10,000
県単交通安全施設整備	(一)石川一本松線	沼津市	石川	歩行空間整備	60,000
県単交通安全施設整備	(一)東柏原沼津線	沼津市	植田	歩行空間整備	15,000
県単交通安全施設整備	(一)滝ヶ原富士岡線	御殿場市	印野	歩行空間整備	10,000
県単交通安全施設整備	(一)大仁停車場線	伊豆の国市	大仁	歩道整備	60,000
県単交通安全施設整備	(主)熱海大仁線	伊豆の国市	大仁	歩道整備	130,000
県単交通安全施設整備	(国)414号	伊豆市	湯ヶ島	歩行空間整備	9,000
県単交通安全施設整備	(一)沼津小山線	小山町	吉久保	歩行空間整備	9,000
県単交通安全施設整備	(一)鷹岡柚木線	富士市	入山瀬	歩道整備	15,000
県単交通安全施設整備	(一)富士富士宮線	富士宮市	宮町	歩道整備	30,000
県単交通安全施設整備	(主)藤枝黒俣線	藤枝市	寺島	交通安全対策	2,000
県単交通安全施設整備	(一)島田岡部線	藤枝市	郡	交通安全対策	10,000
県単交通安全施設整備	(主)焼津森線	藤枝市	北方	交通安全対策	2,000
県単交通安全施設整備	(主)藤枝大井川線	焼津市	上小杉	交通安全対策	4,000
県単交通安全施設整備	(主)焼津藤枝線	焼津市	大村新田	歩行空間整備	3,000
県単交通安全施設整備	(主)藤枝天竜線	島田市	川根町身成	交通安全対策	2,000
県単交通安全施設整備	(主)吉田大東線	吉田町	神戸	歩道整備	20,000
県単交通安全施設整備	(主)袋井大須賀線	袋井市	三門町	歩道整備	4,000
県単交通安全施設整備	(主)焼津森線	袋井市	大日	歩道整備	5,000
県単交通安全施設整備	(主)袋井小笠線	袋井市	高尾	自転車通行空間整備	1,000
県単交通安全施設整備	(主)相良大須賀線	掛川市	大坂	歩道整備	20,000
県単交通安全施設整備	(一)大東相良線	御前崎市	合戸	歩道整備	30,000

各事業箇所の概要等は別紙3のとおり

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 一般県道 修善寺天城湯ヶ島線 伊豆市佐野

## 1 事業概要

全体事業費：	200百万円
計画期間：	平成29年度～平成32年度
計画概要：	道路拡幅工L=500m

## 2 目的・必要性

<p>本路線は、伊豆市柏久保を起点とし、伊豆市市山に至る南北路線であり、地域の生活及び観光道路として、重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路 自動車交通量1000台/日以上	2 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済の箇所(H28) 関連事業との同調施工が必要な箇所	2 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間が整備済みであり、当該箇所の整備により一連区間として整備効果が発現	2 A
熟度	事業の熟度(執行の環境)	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	1 A
計			2 S 6 A

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 一般県道 沼津小山線 小山町菅沼

## 1 事業概要

全体事業費：	200百万円
計画期間：	平成29年度～平成32年度
計画概要：	道路拡幅工L=150m

## 2 目的・必要性

<p>本路線は、沼津市大岡を起点とし、小山町生土に至る南北路線であり、地域の生活及び観光道路として、重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
--

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路 自動車交通量1000台/日以上	2 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	バス路線の定時制改善に資する道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済の箇所(H28)	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了	1 A
熟度	事業の熟度(執行の環境)	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	1 A
計			1 S 5 A

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 清水富士宮線 富士宮市大久保

## 1 事業概要

全体事業費：	300百万円
計画期間：	平成29年度～平成32年度
計画概要：	道路拡幅工L=600m

## 2 目的・必要性

本路線は、静岡市清水区富士見町を起点とし、富士宮市猪之頭に至る南北路線であり、地域の生活及び観光道路として、重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	第3次緊急輸送路に該当	1 A
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路 自動車交通量1000台/日以上	2 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形及び視距が構造令基準に不適合 バス路線の定時制改善に資する道路	2 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において事業判断済の箇所(H28)	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	2 A
熟度	事業の熟度(執行の環境)	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	1 A
計			1 S 8 A

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 主要地方道 焼津森線 掛川市五明

## 1 事業概要

全体事業費：	210百万円
計画期間：	平成29年度～平成33年度
計画概要：	道路拡幅工L=300m

## 2 目的・必要性

<p>本路線は、焼津市焼津を起点とし、森町一宮に至る東西路線であり、地域の生活及び観光道路として、重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭く且つ道路線形が悪いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅及び線形改良を行い、交通の円滑化を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路	1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	福祉施設へのアクセス道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において事業着手済の箇所(H28)	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね5年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	2 A
熟度	事業の熟度(執行の環境)	地元住民と協働で事業計画するなど、十分に合意形成済 全地権者の同意有、地元住民からの要望有	2 A
計			1 S 6 A

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単道路改築事業

路線名： 一般県道 横川磐田線 磐田市敷地

## 1 事業概要

全体事業費：	50百万円
計画期間：	平成29年度～平成30年度
計画概要：	道路拡幅工L=100m

## 2 目的・必要性

本路線は、浜松市天竜区横川を起点とし、磐田市見付に至る南北路線であり、地域の生活及び観光道路として、重要な道路となっている。当該区間は、道路幅員が狭いため、車両の通行に支障をきたしている。このため、道路拡幅を行い、交通の円滑化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	自動車交通量 1000 台/日以上	1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	バス路線の定時制改善に資する道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了 前後区間整備済、一連で整備効果発現	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	全地権者の同意有、地元住民からの要望有	1 A
計			6 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 国道135号（下田市白浜）

## 1 事業概要

全体事業費：	15百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	交通安全対策L=200m

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、国道135号の交通安全対策（カラー舗装）である。本工区は、白浜小学校の通学路であり、通学時における児童の安全性向上を図るため、通行車両の速度抑制のためのカラー舗装を施工し、安全対策を図るものである。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	関連事業との連携	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	2 A
計			1 S 9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 国道 1 3 5 号（熱海市下多賀）

## 1 事業概要

全体事業費：	1 0 百万円
計画期間：	平成 2 9 年度
計画概要：	歩行空間整備 L = 1 2 0 m

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、国道 1 3 5 号の歩行空間整備である。交通量が多い区間であるが、歩道が狭く、側溝の段差などによる歩行空間の改善が課題である。このため、側溝改良及び防護柵整備に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
--

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・死傷事故率	6 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	関連事業との連携	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	2 A
計			0 S 1 2 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 石川一本松線 (沼津市石川)

## 1 事業概要

全体事業費：	60百万円
計画期間：	平成29年度～平成31年度
計画概要：	歩道整備L=400m

## 2 目的・必要性

本事業は、県道石川一本松線の歩行空間整備である。浮島中学校の通学区域であるが、歩道が狭く、歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	4 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	用地取得不要	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	2 A
計			0 S 9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 東柏原沼津線 (沼津市植田)

## 1 事業概要

全体事業費：	15百万円
計画期間：	平成29年度～平成31年度
計画概要：	歩道整備L = 250m

## 2 目的・必要性

本事業は、県道東柏原沼津線の歩行空間整備である。周辺には公会堂などがあるが、歩道が狭く、歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	3A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	用地取得不要	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3A
熟度	事業の熟度(執行の環境)	地元の熟度	2A
計			0S8A

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 滝ヶ原富士岡線 (御殿場市印野)

## 1 事業概要

全体事業費：	10百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	交差点改良 N=1箇所

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、県道滝ヶ原富士岡線（印野交差点）の交差点改良である。印野小学校の通学路であるが、交差点が変則であることから大型車が多いことから、歩行者の安全性確保が課題である。このため、変則交差点の改良を行い、安全な道路環境を整備するものである。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	用地取得不要・他事業連携	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	2 A
計			1 S 8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 大仁停車場線 (伊豆の国市大仁)

## 1 事業概要

全体事業費：	60百万円
計画期間：	平成29年度～平成31年度
計画概要：	歩道整備L=100m

## 2 目的・必要性

本事業は、県道大仁停車場線の歩道整備である。伊豆箱根鉄道大仁駅へつながる路線であるが、歩道がなく、かつ道路線形が悪いことから、歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備を実施し歩行者の安全対策を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	用地取得の見込み	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度(執行の環境)	地元の熟度	3 A
計			0 S 1 0 A

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 熱海大仁線 (伊豆の国市大仁)

## 1 事業概要

全体事業費：	130百万円
計画期間：	平成29年度～平成31年度
計画概要：	歩道整備 L = 40 m

## 2 目的・必要性

本事業は、県道大仁停車場線の歩道整備である。伊豆箱根鉄道大仁駅へつながる路線であるが、踏切部で歩道がないことから、歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備を実施し歩行者の安全対策を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	3 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	用地取得の見込み	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	3 A
計			0 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 国道 4 1 4 号 (伊豆市湯ヶ島)

## 1 事業概要

全体事業費：	9 百万円
計画期間：	平成 2 9 年度～平成 3 0 年度
計画概要：	歩道整備 L = 3 0 0 m

## 2 目的・必要性

本事業は、国道 4 1 4 号の歩行空間整備である。周辺には公民館などがあるが、歩道が狭く、歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	4 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	用地取得不要	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	3 A
計			0 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道沼津小山線 (小山町吉久保)

### 1 事業概要

全体事業費：	9 百万円
計画期間：	平成 2 9 年度
計画概要：	歩道整備 L = 1 5 0 m

### 2 目的・必要性

<p>本事業は、県道沼津小山線の歩行空間整備である。本工区は、明倫小学校の通学路であるが、歩道がなく歩行者の安全性確保が課題である。このため、側溝改良に伴う安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。</p>
---

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	用地取得不要	
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	2 A
計			0 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 鷹岡柚木線 (富士市入山瀬)

## 1 事業概要

全体事業費：	15百万円
計画期間：	平成29年度～平成31年度
計画概要：	歩道整備L=55m

## 2 目的・必要性

本事業は、県道鷹岡柚木線の歩道整備である。本工区は、鷹岡小学校の通学路であるが、歩道がなく通学時の児童をはじめとする歩行者の安全性確保が課題である。このため、歩道整備による安全な歩行空間を整備し、歩行者の安全対策を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・	6 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	交通診断・用地提供の見込	1 S 1 A
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	2 A
計			1 S 1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 富士富士宮線 (富士宮市宮町)

## 1 事業概要

全体事業費：	30百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	歩道整備 L = 93 m

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、県道富士富士宮線の歩道整備である。平成29年12月にオープン予定の富士山世界遺産センター前の歩道整備により、当センターを来訪する観光客をはじめとする歩行者の安全対策を図るものである。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	自動車交通量・歩行者交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	他事業関連	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	3 A
計			1 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 藤枝黒俣線（藤枝市寺島）

## 1 事業概要

全体事業費：	2百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	交通安全対策 N=1箇所

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、県道藤枝黒俣線の交通安全対策（カラー舗装）である。本工区は、稲葉小学校の通学路であり、平成29年度の通学路合同点検に基づき対策を実施するものである。</p>
--

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路指定・自動車交通量	5 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存用地内で整備・地元の熟度	3 A
計			1 S 1 0 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 島田岡部線（藤枝市郡ほか）

## 1 事業概要

全体事業費：	10百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	交通安全対策 N=2箇所

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、県道藤枝岡部線（藤枝市郡・八幡）の交差点における交通安全対策である。変則交差点であることから、事故の発生が危惧されていたが、平成28年度に関係機関と合同で実施した交通診断に基づき、路面表示等による安全対策を施すものである。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	死傷事故率・自動車交通量	4 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	交通診断	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地取得不要	3 A
計			1 S 1 0 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 焼津森線（藤枝市北方）

## 1 事業概要

全体事業費：	2百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	交通事故対策 N=1式

## 2 目的・必要性

本事業は、県道焼津森線（藤枝市北方）における交通安全対策である。交差点内での交通事故の発生が危惧されていたが、平成29年度の通学路合同点検に基づき、路面表示等による安全対策を施すものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量・歩行者交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	3 A
計			1 S 1 0 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方 藤枝大井川線（焼津市上小杉）

### 1 事業概要

全体事業費：	4百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	交通事故対策 N=1式

### 2 目的・必要性

本事業は、県道藤枝大井川線（焼津市上小杉）における交通安全対策である。交差点内での交通事故の発生が危惧されていたが、平成29年度の通学路合同点検に基づき、交差点内での歩行空間整備などの安全対策を施すものである。

### 3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
		安全な生活を実現するみちづくり	通学路・自動車交通量・死傷事故率	7 A
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け			
緊急性	速やかな事業着手の必要性		通学路合同点検	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		地元の熟度	3 A
計				1 S 1 3 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 焼津藤枝線（焼津市大村新田）

### 1 事業概要

全体事業費：	3 百万円
計画期間：	平成 2 9 年度
計画概要：	歩行空間整備 N = 1 式

### 2 目的・必要性

本事業は、県道焼津藤枝線（焼津市大村新田）における交通安全対策である。交差点内での交通事故の発生が危惧されていたが、平成 2 9 年度の通学路合同点検に基づき、交差点内での歩行空間整備などの安全対策を施すものである。

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量・死傷事故率	7 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	3 A
計			1 S 1 3 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 藤枝天竜線（島田市川根町身成）

## 1 事業概要

全体事業費：	2 百万円
計画期間：	平成 2 9 年度
計画概要：	交通安全対策 N = 1 式

## 2 目的・必要性

本事業は、主要地方道藤枝天竜線（島田市川根町身成）における交通安全対策である。交差点内での交通事故の発生が危惧されていたが、平成 2 9 年度の通学路合同点検に基づき、交差点内での歩行空間整備などの安全対策を施すものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検・交通診断	2 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	3 A
計			2 S 1 0 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 吉田大東線（吉田町神戸）

### 1 事業概要

全体事業費：	20百万円
計画期間：	平成29年度～平成31年度
計画概要：	歩道整備 L = 100m

### 2 目的・必要性

本事業は、主要地方道吉田大東線（吉田町神戸）における歩道整備である。自彊小学校通学路であるが、張出し歩道が狭いうえ、老朽化している。このため、張出し歩道の再整備を行い、安全な歩行空間を確保するものである。

### 3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量	5 A
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け			
緊急性	速やかな事業着手の必要性			
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		事業期間・事業効果	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		既存用地の活用	2 A
計				8 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 袋井大須賀線（袋井市三門町）

## 1 事業概要

全体事業費：	4 百万円
計画期間：	平成 2 9 年度
計画概要：	歩行空間整備 N = 1 箇所

## 2 目的・必要性

本事業は、主要地方道袋井大須賀線（袋井市三門町）における歩行空間整備である。袋井南小学校通学路であるが、交差点部に歩行者溜まりがない。このため、交差点部への歩行者溜まりを設置し、安全な歩行空間を確保するものである。

## 3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量	6 A
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
		地域の生活と自立を支援するみちづくり		
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け			
緊急性	速やかな事業着手の必要性			
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		既存用地の活用	2 A
計				1 1 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 焼津森線（袋井市大日）

### 1 事業概要

全体事業費：	5百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	歩行整備 L = 90m

### 2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道焼津森線（袋井市大日）における歩道整備である。森町の市街地部と掛川市方面を結ぶ区間であるもの歩道が未整備である。このため、歩道未整備区間へ歩道を設置し、安全な歩行空間を確保するものである。</p>
---

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量	6 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存用地の活用	2 A
計			1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 袋井小笠線（袋井市高尾）

## 1 事業概要

全体事業費：	1 百万円
計画期間：	平成 2 9 年度
計画概要：	自転車通行空間整備 L = 2 0 0 m

## 2 目的・必要性

本事業は、袋井市の策定する自転車ネットワーク計画に基づき、県道袋井小笠線の自転車通行環境を整備するものである。矢羽根型路面表示等による整備により、安全な自転車の通行環境整備を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量	7 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	袋井市自転車ネットワーク計画	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	1 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	既存用地の活用	2 A
計			1 S 1 0 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 主要地方道 相良大須賀線（掛川市大坂）

## 1 事業概要

全体事業費：	200百万円
計画期間：	平成29年度～平成33年度
計画概要：	歩道整備 L = 200m

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、主要地方道相良大須賀線（掛川市大坂）における歩道整備である。本区間は、大坂小学校の通学路であるが、歩道が狭いうえ、旧小笠川を渡河する新川橋前後の見通しが悪い。このため、廃川敷となった新川橋を撤去し、前後区間の歩道整備を実施し、通学生徒をはじめとする歩行者の安全を確保するものである。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	2 A
計			9 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 県単交通安全施設整備事業

路線名： 一般県道 大東相良線（御前崎市合戸）

## 1 事業概要

全体事業費：	30百万円
計画期間：	平成29年度
計画概要：	歩道整備 L = 120m

## 2 目的・必要性

<p>本事業は、一般県道大東相良線（御前崎市合戸）における歩道整備である。本区間は、第一小学校の通学区域であるが歩道が未整備である。このため、既存用地を活用しながら歩道整備を実施し、通学生徒をはじめとする歩行者の安全を確保するものである。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路・自動車交通量・自転車交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元の熟度	2 A
計			1 1 A

※ A評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）